

教育家庭新聞

2026年(令和8年)

3月16日

月曜日

第2281号

弥生・蚤月・建辰月

春分の日(3/20)
世界気象の日(3/23)
教育基本法・学校教育法
公布記念日(3/31)

第3月曜日発行

教育マルチメディア

発行所=〒111-0053東京都台東区浅草橋3-1-8
TEL:03(3864)8241
FAX:03(3864)8245
郵便振替口座 1309-53693

購読申込み ☎03(3864)8241 Eメール kks@kknews.co.jp

ホームページ https://www.kknews.co.jp/

創刊 昭和36年7月 ©教育家庭新聞社 1部 520円

紙面案内

学びの質を高める「方略」を具体化

次期学習指導要領では学びの質を高める方略の具体化を図る。それとともにデジタル学習基盤の活用も3層に分けて段階的な取組をわかりやすく提示しようとしている

- 2面 個人探究の質を高める
- 3面 学校業務改善
- 4面 学校図書館
- 5・6面 学校保健・食育
- 7面 教育ニュース

【お知らせ】2026年4月より発行日が「第4月曜日」に変わります

- X (旧Twitter) @kyoikukatei
- 紙面問合せ kks@kknews.co.jp
- 購読申込みはこちら→



「教育家庭新聞 教育マルチメディア」購読申し込み書

「教育家庭新聞 教育マルチメディア」は毎月4週に発行します。メール便でお届けします。電話・FAX、またはHPからお申し込みいただけます。購読者には、新聞紙に加え、読者専用WebページにアクセスできるIDとパスワードをお届けします。

1. 電話 03-3864-8241 (弊社販売部) 2. FAX 03-3864-8245 (1部 520円)

3. ホームページアドレス https://www.kknews.co.jp/

お申し込み書(年間12回6,240円)

お名前	
ご職業	
ご住所	[自宅・通勤先] (どちらかに○を) (〒)
連絡先	電話 () () FAX () ()
お支払方法	ご連絡を頂き次第、郵便振替及び銀行振込の用紙をお送りします。どちらからご支払いください。

学校情報化推進計画の見直し案を検討

2022年以降の5年間に取組むべき施策の方向性を示すものとして策定された「学校情報化推進計画」の見直しが進んでいる。本計画は2019年6月に成立した「学校教育の情報化推進に関する法律」に基づき、各自自治体における推進計画策定の参考となる方向性を示すために初めて策定されたもの。2月24日の第9回デジタル学習基盤特別委員会では見直し案を検討した。

学校教育の情報化に関する目標 赤字：今回の見直しで新たに設定した目標
具体的な指標の設定・更新 青字：計画策定時から測定指標を変更した指標

(1) ICTを活用した児童生徒の資質・能力の育成 ※2025年度の値については調査中

指標	計画策定時	現在値	目標
ICT活用による児童生徒の資質・能力の育成 (ICTを使った勉強は役に立つと思うか、関心や意欲が高まるかなど)			
ICT機器を活用することで「自分のペースで理解しながら学習を進めることができる」と考える児童生徒の割合	—	小学校81.3% (2025年度) 中学校78.1% (2025年度)	小学校100% (2027年度) 中学校100% (2027年度)
ICT機器を活用することで「画像や動画、音声等を活用することで学習内容がよく分かる」と考える児童生徒の割合	—	小学校88.1% (2025年度) 中学校88.9% (2025年度)	小学校100% (2027年度) 中学校100% (2027年度)
児童生徒の情報活用能力【情報活用能力調査】			
小学校におけるレベル3以下の児童の割合の減少	—	49.9% (2022年度)※	20%以下 (2026年度)
中学校におけるレベル5以下の生徒の割合の減少	—	57.1% (2022年度)※	20%以下 (2026年度)
ICT活用による学びの保障【全国学力・学習状況調査】			
不登校児童生徒に対する学習活動等の支援にICT機器を活用している学校の割合	—	小学校71.6% (2025年度) 中学校78.7% (2025年度)	100% (2026年度)
特別な支援を要する児童生徒に対する学習活動等の支援にICT機器を活用している学校の割合	—	小学校88.9% (2025年度) 中学校86.7% (2025年度)	100% (2026年度)
外国児童生徒に対する学習活動等の支援にICT機器を活用している学校の割合	—	小学校74.4% (2025年度) 中学校76.1% (2025年度)	100% (2026年度)

(2) 教職員のICT活用指導力の向上と人材の確保

指標	計画策定時	現在値	目標
授業においてICTを活用して指導する能力【学校における教育の情報化の実態等に関する調査】			
授業においてICTを活用して指導する能力	75.3% (2021年度)	82.2% (2024年度)	100% (2026年度)
授業等におけるICT機器の活用頻度【全国学力・学習状況調査】			
端末を授業でほぼ毎日活用している学校の割合	—	小学校84.8% (2025年度) 中学校55.5% (2025年度)	小学校100% (2026年度) 中学校100% (2026年度)
端末を個別最適な学びや協働的な学びに活用しているか【全国学力・学習状況調査】			
自分の特性や理解度・進捗に合わせて課題に取り組む場面、週3回以上ICT機器を使用している学校の割合	—	小学校31.1% (2025年度) 中学校41.4% (2025年度)	小学校80% (2026年度) 中学校80% (2026年度)
児童生徒同士がやりとりする場面、週3回以上ICT機器を使用している学校の割合	—	小学校51.1% (2025年度) 中学校41.4% (2025年度)	小学校80% (2026年度) 中学校80% (2026年度)

文科省公表資料より編集、抜粋

見直し案では、急速に普及する生成AIに関する理解も含め「情報活用能力」の抜本的な向上を図ると、「生涯にわたって自分の人生を舵取りする」ためのメディアリテラシーの育成などが目標に追加されている。学校教育の情報化に関する目標(児童生徒の資質・能力の育成)については、ICT機器を活用してICT機器を活用している学校の割合を2026年度中に100%とする。教職員のICT活用指導力の向上と人材の確保については、自分の特性や理解度・進捗に合わせて課題に取り組む場面、週3回以上ICT機器を使用している学校の割合を2026年度中に80%とする。見直し案は、策定後5年間に取組むべき施策の方向性を示すものとして策定された「学校教育の情報化推進に関する法律」に基づき、各自自治体における推進計画策定の参考となる方向性を示すために初めて策定されたもの。2月24日の第9回デジタル学習基盤特別委員会では見直し案を検討した。

個別最適化された学習過程の充実を図る案を提示

12月15日の教育課程部会総則・評価特別部会において提示された「個別最適化された学習過程の充実」案が、次期学習指導要領を検討する各教科の部会で共有されている。その一例として、「自己調整学習のサイクル」や、それを促進する「個別最適化された学習過程の充実」案が提示されている。

この案では、学習者の理解度や進捗に合わせて課題に取り組む場面、週3回以上ICT機器を使用している学校の割合を2026年度中に80%とする。見直し案は、策定後5年間に取組むべき施策の方向性を示すものとして策定された「学校教育の情報化推進に関する法律」に基づき、各自自治体における推進計画策定の参考となる方向性を示すために初めて策定されたもの。2月24日の第9回デジタル学習基盤特別委員会では見直し案を検討した。

文科省公表資料より編集

GIGA第2期の個別最適な学び

～北九州市立門司青高等学校の取組から～

最終回 柔軟な教育課程で学びの転換を図る

個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させて、学びを「子供主体」へ転換することが求められている。北九州市立門司青高等学校では、めざす子供の姿を「自ら学びをCreateする子ども」として、主体的に学び続ける授業への転換を進めている。

例えば、低学年のマイプランタイムでは、知識や技能等の基礎的内容を自ら修得するために、子供自身がデジタルドリルや紙のドリルを選択して進めたり、友達と数学ゲームを楽しみながら進めたりしている。チャレンジャイムでは、個別と協働全体の時間を十分確保できるように、ゆとりある時間設定を進めている。

個別と協働で進捗を調整しながら学んだ後は、子供が進行しながら学校生活への転換が始まります。

【お知らせ】次号より新連載「AI時代の主体的な学びへの転換」が始まります。

中村学園大学 教育学部 山本朋弘 教授

マイプランタイムの様子

チャレンジタイムの様子

個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させて、学びを「子供主体」へ転換することが求められている。北九州市立門司青高等学校では、めざす子供の姿を「自ら学びをCreateする子ども」として、主体的に学び続ける授業への転換を進めている。

例えば、低学年のマイプランタイムでは、知識や技能等の基礎的内容を自ら修得するために、子供自身がデジタルドリルや紙のドリルを選択して進めたり、友達と数学ゲームを楽しみながら進めたりしている。チャレンジャイムでは、個別と協働全体の時間を十分確保できるように、ゆとりある時間設定を進めている。

個別と協働で進捗を調整しながら学んだ後は、子供が進行しながら学校生活への転換が始まります。

【お知らせ】次号より新連載「AI時代の主体的な学びへの転換」が始まります。

中村学園大学 教育学部 山本朋弘 教授

マイプランタイムの様子

チャレンジタイムの様子

個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させて、学びを「子供主体」へ転換することが求められている。北九州市立門司青高等学校では、めざす子供の姿を「自ら学びをCreateする子ども」として、主体的に学び続ける授業への転換を進めている。

例えば、低学年のマイプランタイムでは、知識や技能等の基礎的内容を自ら修得するために、子供自身がデジタルドリルや紙のドリルを選択して進めたり、友達と数学ゲームを楽しみながら進めたりしている。チャレンジャイムでは、個別と協働全体の時間を十分確保できるように、ゆとりある時間設定を進めている。

個別と協働で進捗を調整しながら学んだ後は、子供が進行しながら学校生活への転換が始まります。

【お知らせ】次号より新連載「AI時代の主体的な学びへの転換」が始まります。

中村学園大学 教育学部 山本朋弘 教授

マイプランタイムの様子

チャレンジタイムの様子

個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させて、学びを「子供主体」へ転換することが求められている。北九州市立門司青高等学校では、めざす子供の姿を「自ら学びをCreateする子ども」として、主体的に学び続ける授業への転換を進めている。

例えば、低学年のマイプランタイムでは、知識や技能等の基礎的内容を自ら修得するために、子供自身がデジタルドリルや紙のドリルを選択して進めたり、友達と数学ゲームを楽しみながら進めたりしている。チャレンジャイムでは、個別と協働全体の時間を十分確保できるように、ゆとりある時間設定を進めている。

個別と協働で進捗を調整しながら学んだ後は、子供が進行しながら学校生活への転換が始まります。

【お知らせ】次号より新連載「AI時代の主体的な学びへの転換」が始まります。

中村学園大学 教育学部 山本朋弘 教授

マイプランタイムの様子

チャレンジタイムの様子

個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させて、学びを「子供主体」へ転換することが求められている。北九州市立門司青高等学校では、めざす子供の姿を「自ら学びをCreateする子ども」として、主体的に学び続ける授業への転換を進めている。

例えば、低学年のマイプランタイムでは、知識や技能等の基礎的内容を自ら修得するために、子供自身がデジタルドリルや紙のドリルを選択して進めたり、友達と数学ゲームを楽しみながら進めたりしている。チャレンジャイムでは、個別と協働全体の時間を十分確保できるように、ゆとりある時間設定を進めている。

個別と協働で進捗を調整しながら学んだ後は、子供が進行しながら学校生活への転換が始まります。

【お知らせ】次号より新連載「AI時代の主体的な学びへの転換」が始まります。

中村学園大学 教育学部 山本朋弘 教授

マイプランタイムの様子

チャレンジタイムの様子

個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させて、学びを「子供主体」へ転換することが求められている。北九州市立門司青高等学校では、めざす子供の姿を「自ら学びをCreateする子ども」として、主体的に学び続ける授業への転換を進めている。

例えば、低学年のマイプランタイムでは、知識や技能等の基礎的内容を自ら修得するために、子供自身がデジタルドリルや紙のドリルを選択して進めたり、友達と数学ゲームを楽しみながら進めたりしている。チャレンジャイムでは、個別と協働全体の時間を十分確保できるように、ゆとりある時間設定を進めている。

個別と協働で進捗を調整しながら学んだ後は、子供が進行しながら学校生活への転換が始まります。

【お知らせ】次号より新連載「AI時代の主体的な学びへの転換」が始まります。

中村学園大学 教育学部 山本朋弘 教授

マイプランタイムの様子

チャレンジタイムの様子

個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させて、学びを「子供主体」へ転換することが求められている。北九州市立門司青高等学校では、めざす子供の姿を「自ら学びをCreateする子ども」として、主体的に学び続ける授業への転換を進めている。

例えば、低学年のマイプランタイムでは、知識や技能等の基礎的内容を自ら修得するために、子供自身がデジタルドリルや紙のドリルを選択して進めたり、友達と数学ゲームを楽しみながら進めたりしている。チャレンジャイムでは、個別と協働全体の時間を十分確保できるように、ゆとりある時間設定を進めている。

個別と協働で進捗を調整しながら学んだ後は、子供が進行しながら学校生活への転換が始まります。

【お知らせ】次号より新連載「AI時代の主体的な学びへの転換」が始まります。

中村学園大学 教育学部 山本朋弘 教授

マイプランタイムの様子

チャレンジタイムの様子

個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させて、学びを「子供主体」へ転換することが求められている。北九州市立門司青高等学校では、めざす子供の姿を「自ら学びをCreateする子ども」として、主体的に学び続ける授業への転換を進めている。

例えば、低学年のマイプランタイムでは、知識や技能等の基礎的内容を自ら修得するために、子供自身がデジタルドリルや紙のドリルを選択して進めたり、友達と数学ゲームを楽しみながら進めたりしている。チャレンジャイムでは、個別と協働全体の時間を十分確保できるように、ゆとりある時間設定を進めている。

個別と協働で進捗を調整しながら学んだ後は、子供が進行しながら学校生活への転換が始まります。

【お知らせ】次号より新連載「AI時代の主体的な学びへの転換」が始まります。

中村学園大学 教育学部 山本朋弘 教授

マイプランタイムの様子

チャレンジタイムの様子

個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させて、学びを「子供主体」へ転換することが求められている。北九州市立門司青高等学校では、めざす子供の姿を「自ら学びをCreateする子ども」として、主体的に学び続ける授業への転換を進めている。

例えば、低学年のマイプランタイムでは、知識や技能等の基礎的内容を自ら修得するために、子供自身がデジタルドリルや紙のドリルを選択して進めたり、友達と数学ゲームを楽しみながら進めたりしている。チャレンジャイムでは、個別と協働全体の時間を十分確保できるように、ゆとりある時間設定を進めている。

個別と協働で進捗を調整しながら学んだ後は、子供が進行しながら学校生活への転換が始まります。

【お知らせ】次号より新連載「AI時代の主体的な学びへの転換」が始まります。

中村学園大学 教育学部 山本朋弘 教授

マイプランタイムの様子

チャレンジタイムの様子

個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させて、学びを「子供主体」へ転換することが求められている。北九州市立門司青高等学校では、めざす子供の姿を「自ら学びをCreateする子ども」として、主体的に学び続ける授業への転換を進めている。

例えば、低学年のマイプランタイムでは、知識や技能等の基礎的内容を自ら修得するために、子供自身がデジタルドリルや紙のドリルを選択して進めたり、友達と数学ゲームを楽しみながら進めたりしている。チャレンジャイムでは、個別と協働全体の時間を十分確保できるように、ゆとりある時間設定を進めている。

個別と協働で進捗を調整しながら学んだ後は、子供が進行しながら学校生活への転換が始まります。

【お知らせ】次号より新連載「AI時代の主体的な学びへの転換」が始まります。

中村学園大学 教育学部 山本朋弘 教授

マイプランタイムの様子

チャレンジタイムの様子

個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させて、学びを「子供主体」へ転換することが求められている。北九州市立門司青高等学校では、めざす子供の姿を「自ら学びをCreateする子ども」として、主体的に学び続ける授業への転換を進めている。

例えば、低学年のマイプランタイムでは、知識や技能等の基礎的内容を自ら修得するために、子供自身がデジタルドリルや紙のドリルを選択して進めたり、友達と数学ゲームを楽しみながら進めたりしている。チャレンジャイムでは、個別と協働全体の時間を十分確保できるように、ゆとりある時間設定を進めている。

個別と協働で進捗を調整しながら学んだ後は、子供が進行しながら学校生活への転換が始まります。

【お知らせ】次号より新連載「AI時代の主体的な学びへの転換」が始まります。

中村学園大学 教育学部 山本朋弘 教授

マイプランタイムの様子

チャレンジタイムの様子

個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させて、学びを「子供主体」へ転換することが求められている。北九州市立門司青高等学校では、めざす子供の姿を「自ら学びをCreateする子ども」として、主体的に学び続ける授業への転換を進めている。

例えば、低学年のマイプランタイムでは、知識や技能等の基礎的内容を自ら修得するために、子供自身がデジタルドリルや紙のドリルを選択して進めたり、友達と数学ゲームを楽しみながら進めたりしている。チャレンジャイムでは、個別と協働全体の時間を十分確保できるように、ゆとりある時間設定を進めている。

個別と協働で進捗を調整しながら学んだ後は、子供が進行しながら学校生活への転換が始まります。

【お知らせ】次号より新連載「AI時代の主体的な学びへの転換」が始まります。

中村学園大学 教育学部 山本朋弘 教授

マイプランタイムの様子

チャレンジタイムの様子

個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させて、学びを「子供主体」へ転換することが求められている。北九州市立門司青高等学校では、めざす子供の姿を「自ら学びをCreateする子ども」として、主体的に学び続ける授業への転換を進めている。

例えば、低学年のマイプランタイムでは、知識や技能等の基礎的内容を自ら修得するために、子供自身がデジタルドリルや紙のドリルを選択して進めたり、友達と数学ゲームを楽しみながら進めたりしている。チャレンジャイムでは、個別と協働全体の時間を十分確保できるように、ゆとりある時間設定を進めている。

個別と協働で進捗を調整しながら学んだ後は、子供が進行しながら学校生活への転換が始まります。

【お知らせ】次号より新連載「AI時代の主体的な学びへの転換」が始まります。

中村学園大学 教育学部 山本朋弘 教授

マイプランタイムの様子

チャレンジタイムの様子

個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させて、学びを「子供主体」へ転換することが求められている。北九州市立門司青高等学校では、めざす子供の姿を「自ら学びをCreateする子ども」として、主体的に学び続ける授業への転換を進めている。

例えば、低学年のマイプランタイムでは、知識や技能等の基礎的内容を自ら修得するために、子供自身がデジタルドリルや紙のドリルを選択して進めたり、友達と数学ゲームを楽しみながら進めたりしている。チャレンジャイムでは、個別と協働全体の時間を十分確保できるように、ゆとりある時間設定を進めている。

個別と協働で進捗を調整しながら学んだ後は、子供が進行しながら学校生活への転換が始まります。

【お知らせ】次号より新連載「AI時代の主体的な学びへの転換」が始まります。

中村学園大学 教育学部 山本朋弘 教授

マイプランタイムの様子

チャレンジタイムの様子

個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させて、学びを「子供主体」へ転換することが求められている。北九州市立門司青高等学校では、めざす子供の姿を「自ら学びをCreateする子ども」として、主体的に学び続ける授業への転換を進めている。

例えば、低学年のマイプランタイムでは、知識や技能等の基礎的内容を自ら修得するために、子供自身がデジタルドリルや紙のドリルを選択して進めたり、友達と数学ゲームを楽しみながら進めたりしている。チャレンジャイムでは、個別と協働全体の時間を十分確保できるように、ゆとりある時間設定を進めている。

個別と協働で進捗を調整しながら学んだ後は、子供が進行しながら学校生活への転換が始まります。

【お知らせ】次号より新連載「AI時代の主体的な学びへの転換」が始まります。

中村学園大学 教育学部 山本朋弘 教授

マイプランタイムの様子

チャレンジタイムの様子

個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させて、学びを「子供主体」へ転換することが求められている。北九州市立門司青高等学校では、めざす子供の姿を「自ら学びをCreateする子ども」として、主体的に学び続ける授業への転換を進めている。

例えば、低学年のマイプランタイムでは、知識や技能等の基礎的内容を自ら修得するために、子供自身がデジタルドリルや紙のドリルを選択して進めたり、友達と数学ゲームを楽しみながら進めたりしている。チャレンジャイムでは、個別と協働全体の時間を十分確保できるように、ゆとりある時間設定を進めている。

個別と協働で進捗を調整しながら学んだ後は、子供が進行しながら学校生活への転換が始まります。

【お知らせ】次号より新連載「AI時代の主体的な学びへの転換」が始まります。

中村学園大学 教育学部 山本朋弘 教授

マイプランタイムの様子

チャレンジタイムの様子

個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させて、学びを「子供主体」へ転換することが求められている。北九州市立門司青高等学校では、めざす子供の姿を「自ら学びをCreateする子ども」として、主体的に学び続ける授業への転換を進めている。

例えば、低学年のマイプランタイムでは、知識や技能等の基礎的内容を自ら修得するために、子供自身がデジタルドリルや紙のドリルを選択して進めたり、友達と数学ゲームを楽しみながら進めたりしている。チャレンジャイムでは、個別と協働全体の時間を十分確保できるように、ゆとりある時間設定を進めている。

個別と協働で進捗を調整しながら学んだ後は、子供が進行しながら学校生活への転換が始まります。

【お知らせ】次号より新連載「AI時代の主体的な学びへの転換」が始まります。

中村学園大学 教育学部 山本朋弘 教授

マイプランタイムの様子

チャレンジタイムの様子

個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させて、学びを「子供主体」へ転換することが求められている。北九州市立門司青高等学校では、めざす子供の姿を「自ら学びをCreateする子ども」として、主体的に学び続ける授業への転換を進めている。

例えば、低学年のマイプランタイムでは、知識や技能等の基礎的内容を自ら修得するために、子供自身がデジタルドリルや紙のドリルを選択して進めたり、友達と数学ゲームを楽しみながら進めたりしている。チャレンジャイムでは、個別と協働全体の時間を十分確保できるように、ゆとりある時間設定を進めている。

個別と協働で進捗を調整しながら学んだ後は、子供が進行しながら学校生活への転換が始まります。

【お知らせ】次号より新連載「AI時代の主体的な学びへの転換」が始まります。

中村学園大学 教育学部 山本朋弘 教授

マイプランタイムの様子

チャレンジタイムの様子

個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させて、学びを「子供主体」へ転換することが求められている。北九州市立門司青高等学校では、めざす子供の姿を「自ら学びをCreateする子ども」として、主体的に学び続ける授業への転換を進めている。

例えば、低学年のマイプランタイムでは、知識や技能等の基礎的内容を自ら修得するために、子供自身がデジタルドリルや紙のドリルを選択して進めたり、友達と数学ゲームを楽しみながら進めたりしている。チャレンジャイムでは、個別と協働全体の時間を十分確保できるように、ゆとりある時間設定を進めている。

個別と協働で進捗を調整しながら学んだ後は、子供が進行しながら学校生活への転換が始まります。

【お知らせ】次号より新連載「AI時代の主体的な学びへの転換」が始まります。

中村学園大学 教育学部 山本朋弘 教授

</